

経営発達支援計画 令和2年度 10カ月間評価表

令和 2年4月1日～令和 3年3月31日

三次広域商工会

事業名	経営発達支援計画	期 間	平成28年4月1日～平成33(令和3)年3月31日
達成すべき目標	創業期の企業を支援する「創業支援事業」、成長期、成熟期の企業を支援する「事業計画策定支援事業」、成熟期、衰退期の企業を支援する「事業承継支援事業」等を軸に、小規模事業者を面的に支援する推進体制の構築を目標とする。		
達成すべき目標に対する成果	<p>(1) ネットde記帳を中心にした記帳指導を充実させ、経営分析の効率化を図り、巡回訪問件数を増加させることによって事業所との信頼関係を深め、なんでも相談できる仕組みを構築する。 今年度の巡回件数は228社に対して765件、去年同期は215社に対して819件であり、若干減少している。また、ネットde記帳自計件数は、今年度末31事業者で前年度末から増減はないが、代行分を含めた全体では、前年度末103事業者から今年度末95事業者へと、事業縮小や廃業を理由に8事業者減少した。</p> <p>(2) 実現可能な事業計画策定を支援し、管内小規模事業者に寄り添いながら伴走型支援を行う。 生産性の向上、経営力の向上計画をはじめ、ものづくり補助金、持続化補助金等各種補助金、資金調達を目的に、49事業者に対し事業計画の策定支援を実行した。例年30件程度で推移していたが、今年度は、コロナ支援策として三次市中小企業経営持続補助金の申請や、コロナマル経の申込みが増加したことにより、事業計画策定支援件数も増加した。結果、コロナの影響で支援先の大半は売上が減少したものの、コロナによる廃業は無かった。</p> <p>(3) 6次産業化への支援は、農林業と商工業の一層の連携強化を図り、地域経済基盤の強化をめざす。また、三次市交流拠点施設と連携し、『みよしブランド』の強化を図るとともに、インターネットやアンテナショップを活用し販路開拓等を積極的に支援する。 昨年度から販路開拓支援に重点的に取り組んできたが、今年度は、コロナ禍、首都圏で開催される展示会等への出展を中止し、県内で開催される展示会、商談会への出展支援を行った。三越広島店で開催された「広島いいもの夏土産」フェアへ安芸高田市商工会と共同出展、4事業者の出展を支援した。高速道路SAを活用した商工会地域物産展へ2事業者の出展を支援した。県連主催の商談会へ1事業者の出展支援を行った結果、新たな取引先の獲得や新商品の開発に繋がった。また、新たな事業として販路開拓支援ギフト事業に取組、8事業者の産品を詰め合わせギフトとして販売し、地域産品を広く周知することができた。</p> <p>(4) 地域経済の活性化に資する事業では、自動車道のクロスポイントを活かした着地型観光の推進、商工会エリアの各地域で開催されるイベントの支援、行政・各支援機関・商工観光団体との連携を通して観光産業の支援を行い、観光客数の増加と消費額の増加をめざす。 イベント実施に当たっては、公式HPへの掲載と、新たに公式LINEを導入し、連動した情報発信を行った。</p>		

評価指標

- A 達成度100%以上
- B 達成度80%以上100%未満
- C 達成度30%以上80%未満
- D 達成度30%未満
- E 未実施

個別項目評価		事業内容	事業進捗状況(実績)								評価	伴走型補助金	備考
測定指標	(1)		支援内容	28年度実績/目標	29年度実績/目標	30年度実績/目標	元年度実績/目標	2年度目標	2年度達成率				
地域経済動向調査に関すること	(1)	①管内小規模事業者へのアンケート調査	管内小規模事業者へのアンケート調査	1/1 参考:調査ベース 148社/782社	1/1 有効/発送 128社/769社	1/1 有効/発送 97社/736社	1/1 有効/発送 129社/701社	1/1 有効/発送 156社/688社	100.0%	A	-	新型コロナウイルス感染症の影響に関するアンケート	
		②外部調査機関を利用した調査 経済センサス、(株)日本統計センターの「市場評価ナビ MieNa」、REASAS、JSTAT MAP等	外部調査機関を活用した調査	15/50 (分母:経営分析件数)	33/45	33/50	35/55	49/60	81.7%	B	-	事業計画策定	
		③三次市観光客数動向調査	三次市観光客数動向調査	1/1 参考:提供件数 14社提供	1/1	1/1	1/1	1/1	100.0%	A	-		

	(2)	経営状況の分析に関すること	事業内容	事業進捗状況(実績)								評価	伴走型補助金	備考			
				支援内容	28年度実績/目標	29年度実績/目標	30年度実績/目標	元年度実績/目標	2年度目標	2年度達成率							
測定指標	(3)	事業計画の策定支援に関すること	<p>①ネットde記帳・確定申告・需要動向調査から収集したデータを基に経営分析を行う。</p> <p>②管内小規模事業者に対するヒアリング調査。</p> <p>③専門家による分析支援</p>	巡回訪問ヒアリング件数	25/180	80/180	83/180	60/150	58/150	38.7%	C	-					
				経営分析実施件数	263/50	108/65	98/75	103/85	95/95	100.0%	A	-	ネットde記帳事業者4事業者廃業				
				ネットde記帳自計件数	20/20	28/22	28/25	31/28	31/30	103.3%	A	-					
				専門家派遣件数	12/12	15/14	16/14	8/15	17/15	113.3%	A	-	就業規則の見直し				
				事業内容			事業進捗状況(実績)										
				支援内容	28年度実績/目標	29年度実績/目標	30年度実績/目標	元年度実績/目標	2年度目標	2年度達成率	評価	伴走型補助金	備考				
				創業セミナー実施回数	2/2	2/2	1/2	1/2	0/2	0.0%	E	-	個別指導に変更				
				創業セミナー参加者数	7/30	24/40	4/40	7/40	0/40	0.0%	E	-					
				創業支援者数	3/2	5/4	8/6	9/8	10/10	100.0%	A	-	開業3件				
				事業計画作成セミナー実施回数	1/1	2/1	1/2	1/2	2/2	100.0%	A	○	個別指導に変更				
				事業計画作成セミナー参加者数	14/20	10/30	4/35	5/40	5/45	11.1%	D	-					
				経営革新計画承認社数	0/4	0/5	0/6	0/7	1/8	12.5%	D	-					
				事業承継セミナー実施回数	1/1	2/1	1/2	1/2	0/2	0.0%	E	-	個別指導に変更				
				事業承継セミナー参加者数	14/10	16/10	8/20	4/20	0/20	0.0%	E	-					
事業承継支援者数	4/2	4/4	6/6	3/8	2/10	20.0%	D	-									
農商工連携支援件数	1/2	0/3	0/4	1/4	2/4	50.0%	C	-									
事業計画策定支援件数	42/40	33/45	33/50	34/55	49/60	81.7%	B	-									

測定指標	(4)	事業計画策定後の実施支援に関する こと	事業内容		事業進捗状況(実績)								
			支援内容	28年度実績 /目標	29年度実績 /目標	30年度実績 /目標	元年度実績 /目標	2年度目標	2年度 達成率	評 価	伴走型 補助金	備 考	
			事業計画策定後は、策定事業者に対して3ヶ月に1度、指導員が進捗状況を個別訪問等により確認する。事務局では、PDCAサイクルを意識し、必要に応じて改善策を検討し確実に実施へと繋がるよう支援を行う。各指導員の月次の目標フォロー件数を作成し、月1回の会議で確認する。事業の報告会を開催し、成功事例等を共有できる場を作る。「創業コーディネーター」を配置し、創業に関する相談に応えられる体制を整える。また「創業コーディネーター」は創業支援セミナー後のフォローを指導員と共に行う。	計画策定後フォロー支援先数(新規分)	46/50	49/61 17社	188/72 28社	113/83 29社	173/92 31社	188.0%	A	-	
			創業支援コーディネーター支援者数	2/2	0/4	8/6	9/8	10/10	100.0%	A	-	経営指導員の個別支援	
(5)	需要動向調査に関する こと	事業内容		事業進捗状況(実績)									
		支援内容	28年度実績 /目標	29年度実績 /目標	30年度実績 /目標	元年度実績 /目標	2年度目標	2年度 達成率	評 価	伴走型 補助金	備 考		
		地域の経済動向調査時に行った情報並びに各種調査機関の調査資料を利用し、個社の必要とする需要動向を調査する。入手した情報は、個別訪問やメールにて情報共有を行い、事業計画策定時に活用して行く。「ひろしま夢ぶらざ」や「TAU」での売れ筋商品情報等を継続的に取得し分析を行う。分析結果をもとに、ミラサボ等の専門家を利用して、商品やパッケージのブラッシュアップを行う。	需要動向情報提供件数	15/50	5/61	32/72	44/83	57/92	62.0%	C	-		
		需要動向セミナー実施回数	1/1	1/1	1/1	1/1	0/1	0.0%	E	-			
需要動向セミナー受講者数	14/20	11/20	17/20	6/20	0/20	0.0%	E	-					
需要動向専門家派遣件数	0/2	2/2	1/2	1/2	8/2	400.0%	A	-	まちゼミ事前巡回個別訪問				
(6)	新たな需要の開拓に寄与する 事業に関する こと	事業内容		事業進捗状況(実績)									
		支援内容	28年度実績 /目標	29年度実績 /目標	30年度実績 /目標	元年度実績 /目標	2年度目標	2年度 達成率	評 価	伴走型 補助金	備 考		
		①まちゼミの支援:事業主が講師を務め、取扱商品等をわかりやすく消費者にPRすることで、店の認知度を向上させ、販路開拓、新規顧客の獲得に繋げていく。②地域ブランドの広報支援:管内において「みよしブランド」に認定された商品を提供する企業に対して「TAU」、「ひろしま夢ぶらざ」への出店支援、「みよし商工フェスティバル」への出展を促し、商品等の認知度を高めて販路拡大に努める。商品情報は、ホームページや会報を利用して定期的に発信して行く。③ITを利用した販売支援:需要開拓を支援するため、域外に商品・サービスの販売を要望している小規模事業者に対して、本ホームページに小規模事業者情報を掲載し広報支援を行う。また、個社においてもIT活用を促進するために、「ITセミナー」を開催する。	まちゼミ開催回数	1/1	23/10	14/10	26/10	18/10	180.0%	A	○		
		まちゼミ参加事業者	7/10	10/12	14/14	19/16	17/18	94.4%	B	-			
トレッタみよし等広報回数	1/2	0/3	0/3	0/4	0/4	0.0%	E	-					
HP情報発信回数	0/24	22/36	35/48	36/60	64/72	88.9%	B	-	飲食店紹介				
ITセミナー開催回数	0/1	2/1	1/1	1/1	1/1	100.0%	A	-	三次商工会議所との共催				
ITセミナー参加者数	0/10	13/12	11/14	6/16	4/18	22.2%	D	-					

		事業内容	事業進捗状況(実績)									
			支援内容	28年度実績 /目標	29年度実績 /目標	30年度実績 /目標	元年度実績 /目標	2年度目標	2年度 達成率	評 価	伴走型 補助金	備 考
(7)	地域経済の活性化に資する取り組み 地域経済の活性化事業	中国自動車道と中国やまなみ街道(尾道～松江線)のクロスポイントに位置する好条件を機会と捉え、その波及効果が及ぶよう管内の七町にある各種団体が開催するイベント・まつりへ協力し、交流人口の増加と地域の連帯を図る。本事業を円滑に遂行するため、観光部会を新設する。	ツアーの企画実施	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0.0%	E	-	
			イベント支援	14/14	14/14	13/14	14/14	2/14	14.3%	D	-	HPへのアクセス数 17,646
			三次市・会議所・観光協会意見交換会	0/1	1/1	1/1	1/1	0/1	0.0%	E	-	
			観光部会新設	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0.0%	E	-	
測定指標	(8)	他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること	事業内容		事業進捗状況(実績)							
		①情報交換会の開催:三次市、三次商工会議所、(株)日本政策金融公庫)、市内金融機関と連携し、年1回意見交換会等を開催し、情報を共有するとともに創業⇒経営拡大⇒事業継続・承継 各段階における支援レベルの向上と支援体制の充実を図る。②広島県よろず支援拠点との連携:当会で解決出来ない問題等については、広島県よろず支援拠点と連携をとり、地域小規模事業者の支援を行う。	新型コロナウイルス感染症の影響により集合による開催には至っていないが、行政、金融機関、他の支援団体とは個別に情報交換を行った。									
	(9)	経営指導員等の資質向上に関すること	事業内容		事業進捗状況(実績)							
		小規模事業者の高度化・多様化する相談案件に対応し、創業・経営革新につながる提案型指導ができるよう経営指導員等の専門的知識のスキルアップを図る。併せて他の職員とも情報の共有を図る。	1.新型コロナウイルス感染症の影響により、県連等主催の集合研修会は縮減されたが、ZOOMを活用したオンライン研修が開催されそれぞれ参加した。 2.専門家の支援に同行及び同席しOJTにより支援力の向上を図った。									
(10)	事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること	事業内容		事業進捗状況(実績)								
		本事業の成果、評価及び見直しについては、三次市、広島県商工会連合会、中小企業診断士の外部有識者からなる「経営発達支援事業評価委員会」を設置し、毎年度、本実施状況及び成果について評価・検証を年1回以上行い、見直しの提示を行う。見直しの提示を受け、各地区地域振興委員長、事務局、中小企業診断士で構成する「経営発達支援計画検討委員会」において見直しの方針を決定する。評価、見直しの結果は、理事会、総代会へ報告し承認を受け、ホームページ等により公表する。	1.事業評価委員会の開催3回、検討委員会の開催1回									

実績	<p>令和2年度の実績報告を各項目ごとに行う。</p> <p>①経済動向調査: 経営、創業等の計画書作成支援を行った49事業者へ対し、外部環境や地域の状況について外部調査機関のデータを取得し提供した。今年度の経済動向調査事業は、「新型コロナウイルス感染症の影響に対するアンケート」を688社に対して実施、156社から回答があった。</p> <p>②経営状況分析: 金融相談に際し、直近の試算表データ及び過去2期分の決算データを活用し改善計画策定等の基礎資料として活用した。</p> <p>③経営計画策定支援: 経営計画策定支援は49事業者に実施。内訳は、国、市の補助金関係が24事業者、金融支援19事業者、経営革新計画1事業者、事業継続力強化計画1事業者、経営力向上計画3事業者、先端設備等導入計画2事業者、創業関係4名であった。</p> <p>④事業計画策定後の支援: 経営計画策定支援を実行した49事業者中、27業者に対し延べ102回進捗確認を行った。</p> <p>⑤需要動向調査: 市場情報評価ナビ等から需要に関するデータを取得し57事業者へ提供した。また、夢ぷらざ、TAUの売れ筋商品等の情報を入手し、新たな商品開発に繋げた。</p> <p>⑥新たな需要の開拓に寄与する事業: 8月上旬三越広島店で開催された「広島いいもの夏土産」フェアへ安芸高田市商工会と共同出展、4事業者の出展を支援した。高速道路SAを活用した商工会地域物産展へ2事業者の出展を支援した。2月に広島県商工会連合会主催で開催された商談会へ1事業者の出展支援を行い、商談が成立した。また、新たな事業として販路開拓支援ギフト事業に取組、8事業者の産品を詰め合わせギフトとして販売した。</p> <p>⑦地域経済の活性化: 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、今年度のイベントは、ほとんどが中止される中、8月8日江の川夏まつりin さくぎが開催され支援した。また、11月23日には、商店街活性化イベントとして三良坂町えびす講大売出し&キッチンカーマルシェin mirasakaを開催し商店街を中心に23事業者が参加した。</p> <p>⑧他の機関との連携情報交換: 新型コロナウイルス感染症の影響により、参集する機会が失われたものの、個別情報交換により最新情報の収集及び共有を実行した。</p>
評価結果 評価と今後の取組み	<p>I. 経営発達支援計画 今年度の事業計画策定支援は、コロナ禍を反映し経営改善計画の増加、また、新型コロナウイルス感染症対策で登場した、国のコロナ対応版の持続化補助金や市の経営継続補助金等の申請に係る経営計画の増加により、前年同期間と比較し15件増加した。このことは、小規模事業者からの相談に対し、積極的に対応した結果と考える。また、創業相談に関しては、コロナ禍においても、他の市町に比較して充実した三次市の創業支援制度の存在やこれまでの創業支援実績が評価され、例年同様の相談実績に繋がっている。次に販路開拓支援に関する事業では、8月に三越広島店で開催された「広島いいもの夏土産」フェアへ4事業者が出展し、そのうち1事業者が安芸高田市の事業者との連携による新商品開発に繋がった。また、2月に開催された「広島県商工会連合会商談会」へ1事業者が参加し、三越広島店、郵便局物販サービスと商談成立した。そして、商談会、展示会等への出展が見合わせられる中、新たな事業として取り組んだギフト事業「みよし感じるななまちギフト」は、新聞で取り上げられたことや産品内容が評価されたこともあって、販売予定数の倍の注文を受けることができ、参加事業者のPR及び産品販路開拓の一助になった。ギフト事業については、新年度からは継続的な事業として取り組む計画である。</p> <p>II. 地域経済の活性化 新型コロナウイルス感染症の影響により、管内の殆どのイベントが中止される中、作木地区の江の川夏まつりin sakugiと三良坂地区のキッチンカーマルシェin mirasakaの2つのイベントが開催された。特に三良坂地区で開催されたキッチンカーマルシェには、市外からも多くの来街者があり、三良坂の商店街に賑わいを見せた。また、参加23店舗へのアンケート調査では、66.5%が通常の土曜日に比較し売上の向上に繋がっている。また、公式HPを活用した情報発信では、更新頻度の向上や公式LINEを導入し、連動した情報発信を行った結果、アクセス件数は、17,646件(前年同期間の10,652件から)65%増加しており情報伝達の向上が図られている。</p> <p>III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力の向上 新型コロナウイルス感染症は、集合方式による研修会にも大きな影響を与え、支援力の向上機会の縮小につながっている。今後は、オンラインセミナーなどを有効活用し積極的に参加することで自己研鑽に努める。</p>
総評	<p>I. 経営発達支援計画 新型コロナウイルス感染症は、新たな需要の開拓に寄与する事業に大きな影響を及ぼした。高速道路SAIにおける地域物産展の開催回数の減少、広島駅北口におけるマルシェイベントの中止、出展を予定していた商談会や展示会は、感染拡大地域に該当したため出展の取りやめや開催中止などに至り、販路開拓の機会の減少や喪失につながった。一方、代替事業として取り組んだギフト事業は、コロナ禍、感染懸念から帰郷を控える方々に、三次の産品を送りたいと言ったニーズにマッチした事業であり高い評価を得ることができた。また、事業計画策定支援は、今年度件数は増加し達成率も向上したものの、国・市の補助金を獲得するためのものが散見され、事業計画作成の必要性についての認識が十分とは言えない。今一度、内部・外部環境分析、その情報を基にした事業計画の策定、そして計画に基づいた販路開拓、結果検証のプロセスについて事業者と共有することが重要である。</p> <p>II. 地域経済の活性化 イベントの開催が、小規模事業者へ与える影響については、一過性ではあるものの効果は確認できた。必要なことは、イベント時に併せ個店の魅力を伝え、ファンづくりを行い、イベント終了後、継続して個店情報を伝え続けることが必要である。そう考えるとき、まちゼミの活用も一つの方策となる。また、HPと連動した公式LINEの活用に加え、今後はYou Tubeを活用した動画配信による事業者の紹介などのコンテンツを加え、さらに積極的な情報発信を行うことで、事業者の広報支援を行う。</p> <p>III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上 今年度は、集団研修の減少に対し、オンライン等による研修機会をタイムリーに取り込むことができなかった。ZOOM等の活用実績や環境も整っており、今後は、積極的に活用し自己研鑽に取り組むことが肝要である。</p>